

福島県会津若松市における観光地型MaaS実証実験 (国土交通省 新モビリティサービス推進事業選定(観光地型))

<実証実験概要>

「地方都市」と「観光地」二面性を有する会津若松市をフィールドに、グローバルなサービスへのAPI接続を前提に、地域で持続的に運営可能な「ローカルなモビリティサービス」を、生活・観光両面での実証実験を通じ構築する。

○実験期間: 2019年10月～2020年3月

- ①教育旅行実証: 10～11月(クローズド)
- ②大内宿実証: 12～3月(12月プレ実証)
- ③バス+タクシー実証: 12～3月(12～1月プレ実証)

○参画する事業者等

会津乗合自動車(株)、会津鉄道(株)、東日本旅客鉄道(株)、(株)デザインウム、アルパイン(株)、福島大学経済経営学類吉田研究室、NEC会津イノベーションセンター、(株)KCS、ITS Japan、会津若松市 等

○MaaSアプリの構築・提供

<対象交通手段> 鉄道、バス、タクシー

- ①教育旅行実証: 周遊バス
- ②大内宿実証: 鉄道、バス
- ③バス+タクシー実証: 周遊バス、路線バス、タクシー

<提供するサービス> 経路検索、予約、決済

○特記事項

- ・デジタルフリーパスの販売
 - ※まちなか周遊用の一日乗車券、大内宿共通割引きっぷ、月及び一日単位の中心市街地のバス定期券(乗車券の所持者はエリア内の乗用タクシーを定額利用可)
- ・観光情報、飲食店情報の提供(市観光情報等との連携)
- ・GPS位置情報(アプリの決済済み画面表示時)により、周遊経路及び降車バス停の把握を検討
- ・会津若松駅「手ぶら観光カウンター」との将来的な連携

<展開エリアのイメージ>

③バス+タクシーによる会津まちなか生活MaaS実証



■バスのエリア27定期券・1日券の利用範囲(路線・バス停)と定額タクシーのエリア(案)

